

# 東奥日報

2021年(令和3年)5月18(火曜日) (14)

ハ  
フ

八戸工業大学感性デザイン学部  
創生デザイン学科の川守田礼子准  
教授(53)が、南部菱刺しの伝統知  
継承と県南地方の衣生活文化に関  
する研究で、インテリジェント・  
コスモス学術振興財団(仙台市)  
の第3回インテリジェント・コス  
モス東北文化奨励賞を受賞した。  
川守田准教授は「受賞を機に南部  
菱刺しという名前が表に出るのが  
うれしい」と笑顔で語った。

川守田准教授は、約10年前から  
県の伝統工芸品・南部菱刺しに関  
する調査研究を進めている。南部  
菱刺しは県南地域の文化・観光  
資源として近年注目される一方、  
津軽こぎん刺しに比べ全国的な  
認知度が低く、制作や継承、広報  
活動の基盤が整備されていないの  
が現状。制作者の高齢化が進み、  
伝統知の継承や集約が課題とい  
う。

## 南部菱刺し研究 東北文化奨励賞

インテリジェント・コスモス財団が授与

川守田准教授(ハエ大)「農家の女性の喜び感じたい」



そこで研究では、民芸運動(1926年)で南部菱刺しの復興資料の調査分析を進めるとも

に、菱刺しの伝統知が民芸運動による復興後の制作者にどのよう  
に受け継がれ、さらに現代の制作  
者へどう継承されているか、関係  
者への聞き取りや制作物調査によ  
って解明することを目指してい  
る。

川守田准教授は「南部菱刺しは  
文献や先行研究、古作が少なく、  
不明な点が多い。飢饉にあえいだ  
時代にあっても服に美しい模様を  
刺した農家の女性たちの生活の喜  
びを、研究を通して感じたい」と  
語った。

同賞は、東北地方と新潟県にあ  
る大学などの研究機関に在籍また  
は過去に所属し、東北地方の文化  
の体系化に尽力し、さらにその発  
信に貢献している個人・団体が対  
象。表彰式は9月に仙台市内で行  
われる予定。

(千葉真由美)

南部菱刺しが施された小物を手に  
受賞を喜ぶ川守田准教授

※ 「この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです」